



Infor LN 販売 販売契約ユーザガイド

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲覧に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	salesscug (U9844)
リリース	10.5.1 (10.5.1)
発行日	2017 年 12 月 19 日

目次

文書情報

第1章 概要.....	7
販売契約 - 概要.....	7
販売契約の指定.....	7
販売契約の取得.....	8
オプション処理.....	8
第2章 手順.....	9
販売契約の指定.....	9
第3章 契約の取得.....	11
販売契約の取得.....	11
販売契約と販売スケジュール.....	11
販売契約と販売オーダー.....	12
第4章 予定契約納入.....	15
販売契約の予定所要量.....	15
納入体系を使用した契約納入.....	15
第5章 オプション処理.....	17
販売契約 - オプション処理.....	17
販売契約の有効化/無効化.....	17
販売契約のコピー.....	17
販売契約の評価.....	17
契約確認の出力.....	17
資材価格の取得.....	17
遡及請求.....	18
督促状の送付.....	18
販売契約の終了と削除.....	18
販売契約のコピー.....	18
販売契約の評価.....	19
付録A	21
契約ライングラフ	21

付録B 用語集.....	23
--------------	----

索引	
----	--

文書情報

この文書では、販売契約の概要を紹介し、販売契約の手続きと機能について説明します。販売契約に基づく予定納入および契約取得を管理するプロセスについても詳しく説明します。

前提とする知識

このガイドを読む上で、LN ソフトウェアに関する詳細な知識は不要ですが、Infor LN の機能の一般知識があるとこのガイドの理解に役立ちます。

本書の概要

次の表にこのガイドの各章を示します。

章番号	章タイトル	内容
第 1 章	概要	販売契約の概要
第 2 章	手順	販売契約手順のステップ
第 3 章	契約の取得	販売契約の取得の説明
第 4 章	予定契約納入	契約に基づく予定納入の設定および使用
第 5 章	オプション処理	販売契約手順のその他の機能

参照

このガイドは、購買契約の第 1 の参照先として使用します。このガイドで説明されていない情報を調べるには、次の関連参照先の最新版を使用してください。

- 販売マスタデータユーザガイド U9839 JA
販売マスタデータの設定を理解するために使用します。
- 条件ユーザガイド U9499 JA
契約条件の設定および使用を理解するために使用します。
- 販売オーダユーザガイド U9845 JA
販売オーダ手順を理解するために使用します。
- 購買と販売スケジュールユーザガイド U9541 JA
購買と販売スケジュール手順を理解するために使用します。
- 価格設定ユーザガイド U9179 JA
価格設定機能を理解するために使用します。
- 資材価格設定ユーザガイド U9865 JA
資材価格設定機能を理解するために使用します。
- 遡及請求ユーザガイド U9840 JA
遡及手順を理解するために使用します。

本書の使い方

本書はオンラインヘルプトピックから作成されたものです。そのため、以下の例のようにその他のセクションへの参照が示してあります。

詳細は、「概要」を参照してください。参照セクションを見つけるには、本書の目次または巻末の索引を参照してください。

下線の付いた用語は、用語集の定義へのリンクが付いていることを示しています。本書をオンラインで表示する場合は、下線の付いた用語をクリックすると、本書の巻末にある用語集の定義に移動します。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡ください。ますようお願いいたします。

販売契約 - 概要

販売契約は、特定商品の納入について、販売先取引先との特定の合意を登録するために使用します。

これらの合意は、次のレベルで登録できます。

- **販売契約ライン**
契約ラインで、一定期間の特定品目または品目グループの納入に関する合意が登録されます。これらの合意には、合計数量、価格、および値引が含まれます。有効期間を指定し、販売する最小数量をバインドするかどうかを指定できます。
- **条件合意**
条件合意では、商品の販売、購買、または転送について、オーダ、スケジュール、計画、ロジスティック、請求、および需要ペギングに関する詳細な条件が登録されます。販売条件合意を使用するには、販売契約にリンクさせる必要があります。

次の契約タイプを作成できます。

- **通常契約**
- **特別契約**

特別契約は、特定のプロジェクトに関連する合意を記録するために使用します。(特別契約は、販促契約でもあります)販売先取引先ごとに、1 期間に複数の特別契約をクローズできます。特定の期間において、販売先取引先の品目または価格グループごとに複数の通常契約タイプを指定することはできません。

販売契約は、販売オーダまたは販売スケジュールの基盤として使用されます。販売契約で指定されたデータは、リンクされた販売オーダまたは販売スケジュールで指定するデータの親として機能します。販売スケジュールと条件合意は、通常契約にのみリンクでき、特別契約にはリンクできません。

販売契約の指定

販売契約を指定するには、次の操作を行います。

1. 販売パラメータ (tdsls0100s000) セッションの [契約] チェックボックスをオンにします。
2. 販売契約パラメータ (tdsls0100s300) セッションで販売契約パラメータを指定します。

詳細は、次の情報を参照してください: 販売契約の指定 (ページ 9)

販売契約の取得

詳細は、次の情報を参照してください: 販売契約の取得 (ページ 11)

オプション処理

多くの処理は、販売契約手順で必ず発生するわけではありませんが、特定の状況では発生します。

詳細は、次の情報を参照してください: 販売契約 - オプション処理 (ページ 17)

販売契約の指定

販売先取引先と行った合意を記録するには:

ステップ 1: 販売契約 (tdsls3500m000)

販売契約 (tdsls3500m000) セッションで、販売契約ヘッダの一般データを指定します。このセッションには主に、販売先取引先の関連データがあります。契約ヘッダでは、条件合意もリンクできます。

このセッションでは、条件合意を次の方法でリンクできます。

- 合意をマニュアルで条件 (tctrm1100m000) セッションから選択します。
- テンプレートから合意を生成し、契約ヘッダに自動的にリンクさせます。適切なメニューの [テンプレートから条件を生成] をクリックし、テンプレートから条件を生成 (tctrm2200m000) セッションを開始します。

契約にリンクできる組合せは次のとおりです。

- 条件合意と契約ラインの両方
- 契約ラインではなく条件合意のみ
- 条件合意ではなく契約ラインのみ

ステップ 2: 販売契約ライン (tdsls3501m000)

販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションで、販売先取引先との品目の合意を含む販売契約ラインを指定します。販売契約価格改訂を使用しない場合、販売契約ラインには価格と値引も含まれます。契約ラインデータは、販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションを参照しています。

ステップ 3: 販売契約価格 (tdsls3103m000)

販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションの [使用中の契約価格] チェックボックスがオンの場合、契約ラインの販売契約価格改訂を指定します。販売契約価格改訂データは、販売契約価格 (tdsls3103m000) セッションを参照しています。

有効な価格と値引を販売契約から取得できない場合、その他のソースで価格と値引の検索が続行されます。

ステップ 4: 販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000)

販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションの [スケジュールに契約を使用] チェックボックスがオンの場合は、契約ラインのロジスティック合意を指定します。契約ラインロジスティックデータは、販売契約ラインロジスティックデータ (tdsls3102m000) セッションを参照しています。

ステップ 5: 販売契約の予定所要量

販売先取引先からスケジュールを受け取っていないが、販売契約に基づいてタイムフェーズ納入のリストを設定する場合は、販売契約のスケジュール済要件を定義できます。

詳細は、次の情報を参照してください: 販売契約の予定所要量 (ページ 15)

注意

前のステップは、販売契約 (tdsls3600m000) または販売契約 (tdsls8330m000) セッションを使用して実行することもできます。

販売契約の取得

次の発生元は、販売契約を検索するために使用します。

- 販売オーダーライン
- 販売スケジュールヘッダ
- 販売スケジュールライン
- 製造: 部品表構成要素の価格の検索時
- プロジェクト: 価格の検索時

これらの発生元の [有効] 販売契約ラインを検索すると、次のフィールドがオリジナル値に一致する契約ラインのみが表示されます。

- [取引先価格/値引] または [販売先取引先]
- [出荷先取引先]
- [品目]
- [価格グループ]
- [販売オフィス]
- [有効化コード]
- [発効日]
- [有効期限]

販売契約と販売スケジュール

デフォルトでは、通常契約ラインは、次の場合に販売スケジュールにリンクできます。

- 販売発行から販売スケジュールへの処理
- 販売スケジュールラインの挿入
- 販売スケジュールラインを承認する

販売スケジュールヘッダの販売契約ラインを検索すると、次のように処理されます。

- 販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションの [顧客オーダーをスケジュールに使用] チェックボックスがオンの場合に、顧客オーダー番号が考慮されます。

契約ラインは、販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションの [偏差のある顧客オーダへのアクション] および [偏差のある空の顧客オーダへのアクション] フィールドの値を基にリンクされます。

- [ブロック]
販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションの [顧客オーダ] フィールドが販売スケジュール (tdsls3111m000) セッションの [顧客オーダ] に一致する契約ラインがリンクされます。
- [販売発行の継続]
契約ラインは、販売スケジュールではなく別の [顧客オーダ] にリンクできます。この場合、販売スケジュールでは販売発行の [顧客オーダ] が使用されます。
- [販売契約の継続]
契約ラインは、販売スケジュールではなく別の [顧客オーダ] にリンクできます。この場合、販売スケジュールでは販売契約の [顧客オーダ] が使用されます。
- 顧客契約参照が販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションおよび販売スケジュール (tdsls3111m000) セッションと同一かどうかを確認します。

注意

- 販売スケジュールの場合、現在の日付を使用して [有効] な販売契約が検索されます。
- 販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションの [スケジュールの条件を使用] チェックボックスがオンになっている場合、販売契約が販売スケジュールの条件合意にリンクされている必要があります。

販売契約と販売オーダ

販売契約は、販売契約パラメータ (tdsls0100s300) セッションの次のパラメータの値を基に販売オーダへリンクされます。

- [販売オーダ別許容複数特別契約]
- [最初の特別契約に自動リンク]

販売オーダの場合、価格設定パラメータ (tdpcg0100m000) セッションの [販売価格日付タイプ] フィールドに指定された日付 ([オーダ日付]、[システム日付]、または [納期]) を使用して、[有効] な販売契約が検索されます。

注意

[顧客オーダをスケジュールに使用] と [顧客契約参照をスケジュールに使用] チェックボックスが販売スケジュールパラメータ (tdsls0100s500) セッションでオンの場合、販売オーダに対して、販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションで [顧客オーダ] および [顧客契約参照] フィールドが指定されていない契約ラインのみが取得されます。このように、販売スケジュールに設定された販売契約ラインに販売オーダをリンクすることはできません。

オーダラインの有効な契約から条件を取得するために、オーダラインにリンクする必要はありません。このため、有効な契約ラインがオーダラインにリンクされている場合、契約番号はオーダラインでのみデフォルト値として使用されます。詳細は、次の情報を参照してください: 条件の取得

販売契約に指定されている品目が有効化構成である場合、販売オーダ価格には更新価格が含まれます。販売オーダに指定された品目が有効化構成あり、契約品目が有効化構成ではない場合、販売オーダ価格 (更新価格を含む) が契約価格として使用されます。

注意

販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションの設定は次のとおりです。

- [最大数量許容範囲] および [最大数量超過時のアクション] フィールドは、数量許容範囲を超えている場合に、契約ラインを販売オーダーラインとスケジュールラインのどちらにリンクできるかを決定するために使用されます。
- [有効期限許容範囲] および [有効期限超過に対するアクション] フィールドは、契約ラインが許容日数を超えている場合に、販売オーダーラインとスケジュールラインのどちらにリンクできるかを判断するために使用されます。

販売契約の予定所要量

簡略化された販売スケジュール機能を使用するには、スケジュール対象の納入を販売契約に基づいて指定します。この処理を使用するのは、販売先取引先からスケジュールを受け取っていないが、販売契約を使用してタイムフェーズ納入のリストを設定する場合です。

スケジュール済所要量は、納入体系を使用して販売契約に指定できます。

納入体系を使用して販売契約の予定所要量を定義するには、納期と納入数量が含まれる販売契約納入ラインを指定する必要があります。販売オーダは納入体系から自動的に生成できます。

詳細は、次の情報を参照してください: 納入体系を使用した契約納入 (ページ 15)

納入体系を使用した契約納入

納入体系は、販売契約に基づいたタイムフェーズ納入のリストです。タイムフェーズ納入を指定するには、販売オーダに変換される販売契約納入ラインが必要です。納入体系は、予定どおりに販売オーダを生成するために使用される簡略化されたスケジュールです。

例

契約ライン	販売契約納入ライン	数量	販売オーダライン	数量
100 個	01/12	20 個	SOL1 01/12	20 個
	08/12	25 個	SOL2 08/12	25 個
	15/12	40 個	SOL3 15/12	40 個
	22/12	15 個	SOL4 22/12	15 個

納入体系を使用して契約納入を指定するには、次の操作を実行します。

ステップ 1: 販売契約と販売契約ラインの作成

まず、販売契約 (tdsls3500m000) セッションで販売契約を作成し、販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションで販売契約ラインを作成します。

ステップ 2: 納入体系の作成

販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションの適切なメニューで、[納入体系] をクリックします。これにより、販売契約納入ライン (tdsls3104m000) セッションが開始され、納入を実行する必要がある日付と、指定した日付に納入する数量を指定できます。

ステップ 3: 契約ラインの有効化

販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションで契約ラインを有効化します。

次の場合は契約ラインを有効化できません。

- 契約ラインの有効期間から外れている計画納期が納入体系に存在する
- 納入体系の合計数量が契約ラインの合意数量を超えている

契約ラインを有効化できない場合、販売契約納入ライン (tdsls3104m000) セッションの [納入体系のチェック] をクリックすると、納入体系を確認して修正できます。代わりに、契約ラインを変更することもできます。

ステップ 4: 計画納入の販売オーダーの生成

販売契約納入ラインを選択し、納入契約 (tdpur3104m000) セッションの適切なメニューで [販売オーダーの生成] をクリックすると、選択した納入ラインから販売オーダー (ライン) が生成されます。

特定の販売契約納入ラインを選択せずに、[販売オーダーの生成] をクリックすると、納入体系から販売オーダーの生成 (tdsls3204m000) セッションが開始され、一定範囲の販売契約納入ラインの販売オーダー (ライン) を生成できます。

計画納入の販売オーダーを生成できるのは、販売契約と販売契約ラインの状況が [有効] の場合のみです。

販売契約 - オプション処理

いくつかの処理は、販売契約手順で常に発生するわけではありませんが、特定の状況では使用されます。

販売契約の有効化/無効化

契約の有効化/無効化 (tdsls3205m000) セッションで、販売契約範囲の有効化または非有効化を選択できます。

販売契約のコピー

販売契約のコピー (tdsls3801m000) セッションでは、販売契約をコピーできます。

販売契約の評価

契約の有効期間の最後に、販売契約の評価 (tdsls3420m000) セッションを使用して合意数量が満たされているかを検証できます。また、補外法によって有効期間内の契約の進捗状況をモニタすることもできます。偏差を含むレポートが出力されます。完了した契約の評価は、契約ラインを別々に出力しなくても実行できます。わずかな偏差は許容されるため、出力されません。

契約確認の出力

販売契約確認の出力 (tdsls3405m000) セッションでは、契約確認を出力して販売先取引先に送付できます。

資材価格の取得

資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [販売の資材価格設定] チェックボックスがオンで、資材価格設定マスターデータが指定されている場合、資材価格情報を取得し、販売契約の資材価格を計算できます。

遡及請求

再交渉によって価格変更を販売契約に行った後に、遡及請求機能を使用して、販売オーダーとスケジュールに従い以前に出荷した品目を請求し直すことができます。

督促状の送付

特定の販売先取引先が契約に示された約定を満たさない場合、契約違反を防ぐために、販売契約督促状の出力 (tdsls3406m000) セッションで督促状を出力して送信できます。許容 [マイナス偏差] を超える契約の督促状が出力されます。

販売契約の終了と削除

販売契約のアーカイブおよび削除/終了 (tdsls3203m000) セッションでは、有効ではなくなった購買契約または早期に終了した購買契約を終了または削除できます。

販売契約のコピー

販売契約のコピー (tdsls3801m000) セッションでは、販売契約をコピーできます。

通常契約から通常契約へのコピー、または特別契約から特別契約へのコピーはいつでも実行できます。通常契約を特別契約にコピーできるかどうか、また特別契約を通常契約にコピーできるかどうかは、販売契約パラメータ (tdsls0100s300) セッションの次のチェックボックスの設定によって決まります。

- [特別契約を通常契約にコピー]
- [通常契約を特別契約にコピー]

新しい通常契約にコピーするときに、通常契約が次にすでに存在するかどうかを確認されます。

- 同じ期間
- 同じ価格グループまたは品目
- 同じ販売先取引先

このような契約がすでに存在し、状況が [有効] である場合、コピーはできません。

このような契約が存在しない場合、新しい通常契約にコピーするときに、次のように設定されます。

- 新しい契約の発効日が、古い契約の有効期限の翌日になる
- 契約期間が 1 年になる

契約は新しい契約番号でコピーされます。この番号は、販売契約 (tdsls3600m000) セッションで新しい契約を指定するときと同じ方法で決定されますが、発効日と有効期限は異なります。

ソース契約ラインの [使用中の契約価格] チェックボックスがオンの場合、新しい契約の有効期間内に発効日を持つソース契約にリンクされた販売契約価格改訂が新しい契約にコピーされます。有効な価格改訂が存在せず、販売契約のコピー (tdsls3801m000) セッションの [価格をコピー] チェックボックスがオンの場合、古い契約の最終価格改訂が新しい契約の価格改訂にコピーされ、発効日は契約ラインの発効日と同じになります。

注意

新しい契約に価格をコピーするとき、古い契約の値引および値引スケジュールは自動的に含まれません。値引も新しい契約にコピーするには、販売契約のコピー (tdsls3801m000) セッションで [値引をコピー] チェックボックスをオンにします。

価格帳または値引スケジュールが新しい契約の実行時間で有効ではない場合、販売契約のコピー (tdsls3801m000) セッションの [新価格帳を作成] チェックボックスや [新値引スケジュールを作成] チェックボックスをオンにすることで、新しい契約用の新しい価格帳や新しい値引スケジュールを作成できます。新しい価格/値引ラインは、既存の価格帳/値引スケジュールにも追加することができます。

古い契約にリンクされている納入契約は、新しい契約にコピーできます。納入体系をコピーするには、販売契約のコピー (tdsls3801m000) セッションの [納入契約をコピー] チェックボックスをオンにします。

請求先取引先の通貨は、契約の通貨と同じである必要があります。契約に同意する時点で、取引先の状況が [有効] である必要があります。販売先取引先と他の取引先の役割との間に、親関係が存在する必要があります。

販売契約の評価

販売オーダまたは販売スケジュールに販売契約を使用する場合は、販売オーダまたは販売スケジュールの手順の間および後に販売契約を評価できます。契約の有効期間の間、納入が契約で同意したとおりに行われたかどうかをチェックできます。契約の有効期間の終了時に、合意数量と一致しているかどうかチェックできます。

販売契約の評価 (tdsls3420m000) セッションは、販売契約パラメータ (tdsls0100s300) セッションで [削除前に契約を評価] チェックボックスがオンの場合は必須です。

販売契約の評価 (tdsls3420m000) セッションで契約を評価するには、次の要件を満たす必要があります。

- 契約状況が [有効] である
- 契約にはコールオーダが存在する
- 経過時間 (%) が指定された比率より大きい

契約ラインの評価方法は、販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションの [数量まとめ] チェックボックスの値によって決まります。このチェックボックスにより、販売先取引先と合意した [合意数量] が販売する必要がある数量であるかどうかが決まります。

販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションで [数量まとめ] チェックボックスがオンの場合、販売契約の評価 (tdsls3420m000) セッションにより次の差異が出力されます。

- 販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションの [コール数量] フィールドと [最大数量] フィールド
- 販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションの [コール数量] フィールドと [最小数量] フィールド

販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションの [数量まとめ] チェックボックスがオフの場合、販売契約の評価 (tdsls3420m000) セッションにより、販売契約の評価 (tdsls3420m000) セッションで指定した限界を超えたラインが出力されます。

数量に関して、わずかなマイナス偏差またはプラス偏差を許容できます。偏差は、販売契約の評価 (tdsls3420m000) セッションで次のようにして計算されます。

$$((\text{コール数量} + \text{請求数量}) - (\text{合意数量} \times \text{経過時間係数}) \div \text{合意数量}) \times 100$$

例

- 合意数量 = 100
- コール済 + 請求済 = 40
- 契約期間 = 10 日
- 経過時間 = 6 日

$$\text{マイナス偏差} = 40 - 100 \times 6/10 \div 100 = -20\%$$

この比率が許容比率を上回ると、契約ラインが出力されます。

注意

- 販売契約が評価されると、販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションの [評価 [y/n/繰返し]] フィールドが更新されます。
- たとえば、契約期間の終わりに最大数量が納入された場合などは、推定値を使用する補外法により不正確な結果が導き出されることがあります。この結果、中間評価では実際の数量と違うバックログが示されます。

契約ライングラフ

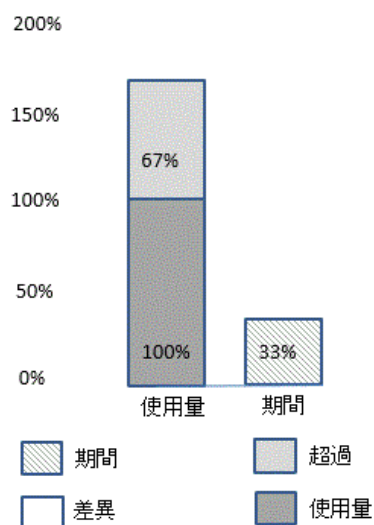
契約数量の利用率は、販売契約 (tdsls8330m000) セッションまたは購買契約 (tdpur8330m000) セッションを使用することにより、契約ラインの期間と比較され、グラフに表示されます。

これらのセッションで契約ラインを選択すると、[使用量対期間] グループにグラフが表示されます。

例

契約ライン発効日	2015/1/1
契約ライン有効期限	2015/12/31
現在の日付	2015/5/1
合意数量	300
納入数量	500

グラフには次のカラムが表示されます。



- 期間
契約ラインは有効で、この契約ラインの 33% (4 ヶ月) だけ経過しています。期間 = (現在の日付 - 発効日(120 日)) / (有効期限 - 発効日(365 日)) * 100 = 33% (端数修正)。
- 使用量
合意数量が 300 で、納入数量が 500 であるため、合意数量は納入されます。したがって、利用率は $(100 * 300 / 300) = 100\%$ です。
- 超過
合意数量が 300 で、納入数量が 500 であるため、追加数量の 200 が納入されます。したがって超過は $(100 * 200 / 300) = 67\%$ です。
- 差異
超過があるため、差異はゼロです。ただし、数量 50 のみが納入される場合には (利用率は $(100 * 50 / 300) = 17\%$)、差異は 16% です。したがって、合意数量の納入は予定よりも遅れます。

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

販売スケジュール

資材の計画供給のタイムテーブル。販売スケジュールは、頻繁に納入される長期の販売をサポートします。品目、販売先取引先、出荷先取引先、および納入パラメータが同じである要求はすべて、同じ販売スケジュールに保存されます。

有効化コード

有効化構成品目に関する差異をモデル化するために使用する、販売オーダーラインやプロジェクト成果物ラインなどの参照番号

販売オーダー

特定の条件にしたがって取引先に品目またはサービスを販売するために使用される合意。販売オーダーは、1 つのヘッダおよび 1 つ以上のオーダーラインから成ります。

取引先データ、支払条件、受渡条件などの一般オーダーデータは、ヘッダに保存されます。価格合意や納期など、発注される実際の品目についてのデータは、オーダーラインに入力されます。

価格帳

指定された期間で有効な価格情報を保存できるエンティティ

価格帳には、次の要素が含まれています。

- 価格帳のコード、タイプ、および使用法を含む価格帳ヘッダ
- 品目を含む 1 つ以上の価格帳ライン

数量または価格境界値引スケジュールは価格帳にリンクできます。

値引スケジュール

指定した期間中に有効な値引情報を保存し、品目の値引計算に使用できるエンティティ

値引スケジュールには、次の要素が含まれています。

- 値引スケジュールのコード、タイプ、および使用法を含む値引スケジュールヘッダ
- 値引を含む 1 つ以上の値引スケジュールライン

値引スケジュールで指定される値引は割合または金額で表され、最大または最小の数量または値が設定されています。

値引スケジュールは、価格帳にリンクすることができます。

販売契約

販売契約は、商品の納入について、販売先取引先との合意を登録するために使用します。

契約は次の要素で構成されます。

- 一般取引先データが記載され、オプションで条件合意が記載された販売契約ヘッダ
- 品目または価格グループに適用される価格/値引合意および数量情報を持つ、1 つまたは複数の販売契約ライン

遡及請求

前に請求済の品目について、価格の再交渉に基づいて貸方または借方請求書を発行する処理。契約または個別のオーダやスケジュールにリンクされたオーダまたはスケジュールに対して遡及請求を実行できます。

同義語: 遡及請求

遡及請求

次を参照してください: 遡及請求 (ページ 24)

資材価格

資材の価格。以下場合があります。

- 資材基準価格 (資材実際価格が (まだ) 適用されない場合)
- 次の構成要素の合計: 資材基準価格 + 資材価格付加費用 + 資材価格付加費用原価 (資材実際価格が適用される場合)

請求先取引先

請求書を送付する取引先。通常、これは顧客の買掛金管理部署になります。この定義には、デフォルト通貨と為替レート、請求方法と請求の回数、顧客の与信限度額情報、支払の条件と方法、関連の回収先取引先が含まれます。

条件合意

商品の販売、購買、転送に関する取引先との契約であり、オーダ、スケジュール、計画、ロジスティック、請求、需要ペギングについて詳細な条件を定義し、正しい条件を取得するための検索メカニズムを定義できます。

契約には次が含まれます。

- 合意タイプと取引先が記載されたヘッダ
- 検索優先順位、選択した検索属性 (フィールド) とリンクしている条件グループから構成される検索レベル
- 検索レベルの検索属性値が示される 1 つまたは複数のライン
- ラインのオーダ、スケジュール、計画、ロジスティック、請求、需要ペギングについて詳細な条件が示される条件グループ

更新価格

有効化構成 (UEF) の要件に対して定義されている価格。この要件が有効化コードの構成で使用されている場合、更新価格は有効化コードの販売価格に加算されます。

契約価格改訂

購買契約ラインの価格要素および値引要素についての、日付管理された合意。価格改訂を使用すると、長期にわたって複数の価格を有することができます。有効な改訂は、発効日から次の改訂の発効日まで、または契約ラインの有効期限まで有効です。

顧客契約参照

品目のモデル、部品、または年度と、販売先取引先を含む識別子。この参照は、販売契約ラインを識別するために使用されます。

顧客オーダ番号

オーダまたは販売先取引先別契約に割り当てられた番号（販売先取引先の購買契約番号など）。顧客オーダ番号は、販売契約ラインを識別するために使用できます。

有効期間

発効日と有効期限で定義される、レコードが有効となる期間

ロジスティック合意条件

スケジュールメッセージ、凍結期間、権限、納入パターン、運送業者などのロジスティックデータに関して発注先と顧客の間で合意される必要のある条件

通常契約

顧客指向の契約で、発注者と顧客によって合意され、特定合意を記録するために使用されます。通常契約は、通常、約 1 年間有効です。

特定期間の同じ取引先に別の有効な契約が存在する場合は、通常契約を有効にすることはできません。

販促契約

各販売先取引先に適用される特別なタイプの契約。そのため、販売先取引先は契約に入力されません。

特別契約

顧客指向の契約で、購買元取引先と販売先取引先によって合意され、特別なプロジェクトの特別な合意を記録するために使用されます。特別契約は、販促契約の場合もあります。

特別契約では、同じ品目/取引先の組合せについて、有効期間の重複が許可されます。

索引

適切なメニュー, 23
販売スケジュール, 23
有効化コード, 23
販売オーダー, 23
価格帳, 23
値引スケジュール, 24
販売契約, 7, 15, 24
 オプション処理, 8, 17
 コピー, 18
 指定, 7, 9
 取得, 8, 11
 評価, 19
予定所要量, 15, 15
納入体系, 15, 15
販売契約納入ライン, 15, 15
遡及請求, 24
資材価格, 24
請求先取引先, 24
条件合意, 25
更新価格, 25
契約価格改訂, 25
顧客契約参照, 25
顧客オーダー番号, 25
有効期間, 25
ロジスティック合意条件, 25
通常契約, 25
販促契約, 26
特別契約, 26
契約ライングラフ, 21
